

岩手県支部ニュース No.26

unicef

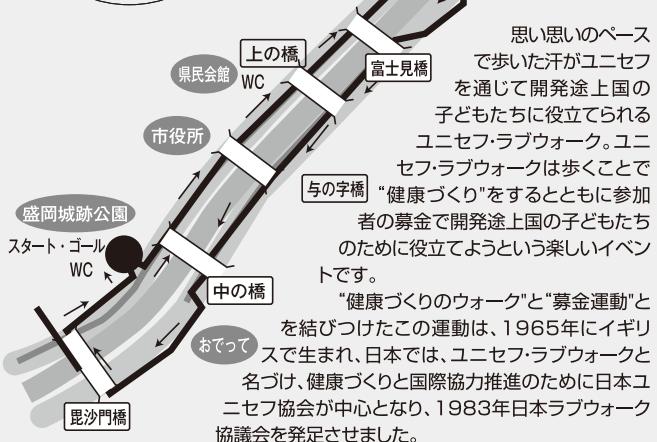
財団法人 日本ユニセフ協会

10周年記念事業

10年のあゆみをふりかえり、
更なるユニセフ活動のひろがりをめざし、ユニセフの活動
を県内に広めていきましょう。

第1回 ユニセフ・ ラブウォーク in いわて

～盛岡城跡公園から
清流中津川の散策～



(財)日本ユニセフ協会岩手県支部は
「岩手県ユニセフ協会」となります。

2011年4月1日

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部は「岩手県ユニセフ協会」となります。財団法人日本ユニセフ協会は、新公益法人法の下「公益財団法人」として2011年4月1日、「公益財団法人日本ユニセフ協会」となります。これに伴い、日本ユニセフ協会と岩手県支部は「協力協定」を締結し、名称を「岩手県ユニセフ協会」と変更し、県内において唯一ユニセフを代表し活動を推進していくことになります。これまでの組織体制を継続し、岩手に根ざした活発なユニセフ活動をすすめています。



▲2010年度第2回理事会 2011年2月22日

2011年3月
【発行】
**(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部**

〒020-0180
岩手郡滝沢村土沢220-3 いわて生協本部2F
TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491
e-mail : sn.unicef_iwate@todock.jp
ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

みんな地球のともだち

いわてユニセフ10周年記念公演

日時 2011年8月7日(日) 13:00~15:30

会場 アイーナ 7Fホール (盛岡駅西口)

入場料無料

第1部 Music for Peace

キャラホール少年少女合唱団 出演 私立一関修紅高校音楽部



▲2006.12 ユニセフチャリティコンサート



▲2010.7 定期演奏会で世界の子どもたちを支援 提供 岩手日日新聞

第2部 記念公演

「地球のステージ5 ～果てなき地平線～」

精神科医桑山紀彦さんはNPO法人「地球のステージ」の代表理事として、災害時の緊急医療支援や、紛争地や被災地で心に傷を負った人への心理社会的ケア(心のケア)を中心として海外支援活動を続けています。途上国の子どもたちの映像と語り、ライブは、学校・PTA・地域で国際理解教育として公演(国内2000回以上)されています。

今回のステージは初の「国内」を取り扱ったシリーズ「ヒロシマ篇」。原爆投下から65年を経て広島がどのように立ち上がっていったのかを映像をmajieお届けいたします。



Iwate Association for UNICEF

ユニセフってなあに

ユニセフ(UNICEF:国際連合児童基金)は世界の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関です。第二次世界大戦によって厳しい生活を強いられた子どもたちへの緊急支援するため、1946年に創設されました。現在は、子どもの権利を擁護する主要な機関として、戦争に限らず子どもたちの健やかな成長のため、150以上の国と地域で、教育、保健、水と衛生、栄養、保護等の支援活動を行っています。

日本ユニセフ協会

日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)は世界36の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会のひとつです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し、募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を行っています。これまでに子どもの権利条約及び選択議定書の批准に尽力し、現在は子どもの商業的的搾取や子どもボルノなど子どもの保護に関する問題に取り組んでいます。1955年創立。



届けたい。すべての子どもたちに“いのちを守る方法”を

ユニセフ ハンド・イン・ハンド 募金活動

街頭募金活動は、12月5日花巻友の会、12月12日いわて生協・岩手県学校生協・盛岡大学生協・岩手県支部が盛岡市内で実施、いわて生協は各コーポごとに開催され、全体では、36会場、989人(子ども792人)が参加し、特に子どもたちの参加が多く募金額は985,372円と前年を大幅に上回りました。

大きな声で呼びかけました!!!



▲幼い兄妹が募金に協力 moss前



▲カワトク前



▲ホットライン肴町



▲イオンモール盛岡 マプリットギバも応援にきたよ!



▲花巻 アルテ

参加校・参加者から

○今回のユニセフ募金は大宮中学校にとって初めての取り組みでした。最初のうちは募金してくださる方がいるか不安でした。しかし、声をかけると小さい子どもからお年寄りまでたくさんの方が募金してくれました。街頭で募金している時「寒い中ごくろう様」と声をかけてくれた方もいて心が温かくなりました。
(盛岡市立大宮中学校 生徒会執行部ボランティア担当)

○寒い中の募金活動で大変でしたが、通りかかる人に「寒い中大変だね」「頑張ってね」と声をかけていただいたのが嬉しかったし、励みになりました。この活動を通して、改めて人の温かさに気づくことができたので参加して良かったと思います。
(盛岡市立高校生)

○イオン盛岡南は、大学生から中学生まで約70人の参加で、三ヶ所の入り口近くで募金を呼びかけました。大学生のみなさんにはお世話係もお願いしども助かりました。センター口でコンサートもあったので大きな声で呼びかけました。
(一般ボランティア)

ユニセフ出前講座



▲11月26日 金ヶ崎町立三ヶ尻小学校

世界の子どもたちの現状を知ろう」とワークショップを行いました。5歳未満で亡くなる子どもの数の多い順に世界地図に色を塗りました。



▲11月15日、県立大学社会福祉学部

学生たちはグループに分かれ、「子どもの権利条約」の条文から「最も大事にしたい条文」を出し合い、グループから発表。4つの権利(「生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利」)で、学生たちが多く選んだのは「守られる権利」でした。



▲11月18日 盛岡市立上田小学校5年生

「ボカリスエットのようだ」経口補水塩を作つて飲んでみました。下痢などで脱水症状の子どもを救う経口補水塩。水1リットルに砂糖小さじ4・塩小さじ0.5…25倍の速さで吸収されます。

ユニセフ手洗いダンス



せっけんを使った正しい手洗いは、
子どもたちの命を感染症から守ります。

▲10月19日 どんぐり保育園



世界の子どもたちにワクチンを!!

ペットボトルのキャップを
あなたはどうしていますか。



通常は捨てられているボトルキャップですが、集めたものをリサイクル業者に売却して、その収益を寄付することで小児麻痺のポリオワクチンを購入することができます。治療に使われるワクチンは1本20円。キャップ約800個集めてワクチンが1本買えます。



ユニセフ募金贈呈



▲11月25日
花巻市立笛間第一小学校



▲12月8日
ゆかわ脳外科スポーツクラブ



▲11月24日
盛岡市立大新小学校



▲2月23日
紫波町立星山小学校
贈呈後、ユニセフ支援の蚊帳を紹介



▲2月26日
盛岡レオクラブ



▲2月7日
笛渡小学校

中東・ 北アフリカ 緊急募金の 受付



混乱が続くリビアから、隣国のチュニジアへ避難してくる人々と移民労働者の高まる流出を懸念して、ユニセフは、リビア西部と東部の国境にスタッフと支援物資を動員し、支援を行っています。

ユニセフのルイス・ジョージ・アーセナル緊急支援プログラム部長は、2日(水)に現地入りし、政府当局、人道連携機関、チュニジアの赤新月社とチュニジアで面会。リビアの混乱で求められている人道支援について協議しました。

エジプトとチュニジアの国境で人道上緊急に必要とされている160トン以上の支援物資を載せたユニセフのチャーター機が、今後数日のうちに、近隣の二都市に到着する見込みです。この第一便には、衛生キット、栄養に関する物資の他、レクリエーションや心理社会的なケアのための物資等、最も重要な支援物資が含まれています。リビアから国境を越えてチュニジアにやってくる人々の数は、現在のところ比較的少ないと報告されていますが、ユニセフは、リビア国内の子どもたちと女性たちが、この混乱によって深刻な影響を受けているものとみて憂慮しています。

アーセナル緊急支援プログラム部長は、チュニジアとリビアの国境の街ラスジェディールを訪問し、リビアの混乱から避難してきた人たちと会う予定でいます。また、チュニジア国境にいる人々のニーズを話し合いため、人道支援スタッフや地元当局者たちと会う予定です。

今日(2日)、ユニセフは、リビアの影響を受けている子どもと女性の緊急支援活動に必要な資金として、720万米ドルを要請しました。数日以内に国連の共同緊急アピールの一部として発表される予定です。

この緊急アピールで求められている資金は、ユニセフが、リビアの混乱によって避難を強いられた人々や移住労働者のニーズに対応するべく、チュニジアとエジプトの国境で既に活動しているスタッフを増員し活動規模を拡大するために、緊急に必要とされています。ユニセフは、チュニジアとリビアの国境で、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)、国際移民機関(IOM)、チュニジアの赤新月社と協力しながら活動を続けています。

日本ユニセフ協会・岩手県支部は、緊急募金を受付けています。

ユニセフカード・ギフトの頒布

ユニセフ・カードの頒布はイベント会場でご利用いただきました。
価格の50%はユニセフ募金となります。



▲9月12日 盛岡NPOまつり



▲9月26日 フェアトレード



▲11月28日 ワン・ワールドフェスタ

ユニセフハウス 行ってみませんか。



ユニセフハウス展示スペースは世界の子どもたちの暮らしやユニセフの活動に出会える場所です。いつも世界の子どもたちとともにいるユニセフ。県内では、毎年20校を超える中学校がユニセフハウスを見学しています。

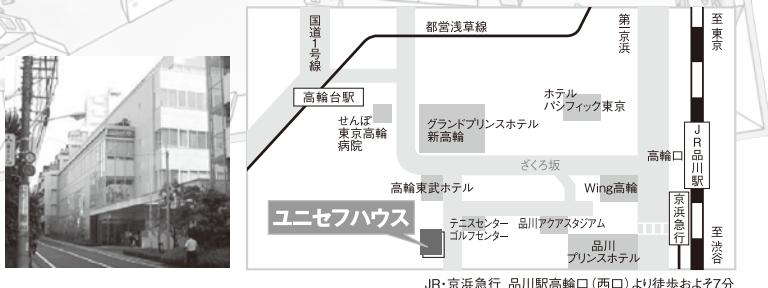
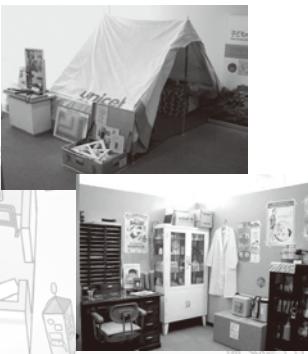
見学で心に残ったこと、学んだこと 県内中学生のアンケートから

○地雷のレプリカがとても心に残っている。人の命ではなく体の一部をうばうというのがとても恐ろしいし、まだ世界には残っていると考えると震えが止まらない。

○私たちは、「子どもの権利」というものに守られないと知ってびっくりした。少しでも役に立つようにがんばりたい。

○18歳未満の子どもがいまでも武器を持たれて人を殺しているという現実が残念です。

○学校に行きたくても行けない、食べたいけど食料がない人達の事を考えて、食べ残しを少なくしたり、勉強をしっかりやりたり、日本に誇りを持ちたいと思いました。



中東・北アフリカ緊急募金

《郵便局（ゆうちょ銀行）振替口座》
00190-5-31000
《口座名義》 財団法人日本ユニセフ協会

- ◆通信欄に通信欄に
「中東・北アフリカ緊急募金K1-030 岩手県支部」と明記願います。
- ◆送金手数料は免除されます。
- ◆当協会への募金は寄付金控除の対象となります。

2010年度ユニセフ募金

【学校】

- 盛岡市立玉山小学校
- 盛岡市立大新小学校
- 盛岡市立杜陵小学校
- 紫波町立星山小学校
- 花巻市立矢沢小学校
- 花巻市立湯本小学校
- 花巻市立笛間第一小学校
- 八幡平市立東大更小学校
- 大船渡市立大船渡小学校
- 宮古市立千徳小学校
- 洋野町立大野小学校
- 久慈市立大川目中学校
- 私立一闘舎紅高校

【団体他】

- 盛岡レオクラブ
- マルイシ商店
- 花巻温泉株式会社
- カマダ生花店
- ホテルグランシェール花巻
- 盛岡劇場
- メトロポリタン盛岡ニューウイング
- ホテル東日本盛岡プローニュ
- 日本ユニセフ協会岩手県支部花巻友の会
- 岩手県立学校退職教頭副校長会
- 立正佼成会花巻教会
- 有杉善商店
- 株宮沢商店
- 岩手県青少年会館
- 盛岡グランドホテル
- 盛岡グランドホテルアネックス
- (医)泉栄会ゆかわ脳外科ゆかわスポーツクラブ
- 株赤沼商店
- 株岩手県空港ターミナルビル
- ホテル東日本盛岡
- バーレインドカレー店ニルヴァーナ

【生協】

- いわて生活協同組合
- 岩手県学校生活協同組合
- 盛岡医療生活協同組合
- 盛岡大学生協学生委員会

【個人】

- 林 正文 ●大村 孝子
- 渡邊 勉 ●渡辺 徳司
- 小田島二郎 ●菊地 泉
- 佐藤 悅郎 ●佐藤 四郎
- 勝又 弘子 ●勝 恭子
- 佐々木啓之 ●野口 恭子
- 中軽米 伸 ●齊藤 政一
- 零石 正男 ●佐々木みどり
- 守谷 祐志 ●高橋 譲治

岩手県支部にお寄せいただいた募金です。払込用紙の通信欄に岩手県支部コードK1-030と記入されたもので送金いただいた方々です。

2010.4～2011.3
(敬称略・順不同)

unicef Information

あなたもユニセフと世界の子どもたちの応援団になりませんか

第10回 いわてユニセフのつどい ～世界はともだち～

ブータン視察の報告などユニセフと世界の子どもたちのことを知り、あなたもユニセフと世界の子どもたちの応援団になりませんか。

日 時：2011年3月20日(日)
13:00～15:30

会 場：プラザおでって 3F 大会議室
※保育室有

参加費
無料



～みんなで手洗いダンス アワワ…～

- 国際理解ワーク・ショップ「貧困はどこから…」
ファシリテーター 藤澤 義栄さん(岩手県国際理解教育研究会・花巻市立成島小学校教諭)
- ブータン支援の最新報告
岩手県支部常務理事(いわて生協常務理事)梅澤 明美さん
- ユニセフ活動交流など

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部では会員を募集しています。

あなたもユニセフサポーターに 会員になってご支援ください

Q 会員ってなに？

A ユニセフ協力を広げるさまざまな活動を行う日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にして下さい。

Q 会員の種類と会費、会員期間は？

A 3種類の会員があります。

- ①一般会員…個人ならどなたでもお申し込みができます。1口5,000円です。
- ②学生会員…18歳以上の学生が対象です。1口2,000円です。
- ③団体会員…団体、法人、企業などが対象です。1口100,000円です。

団体会員のみ、毎年4月～翌年3月(事業年度)が会員期間です。

※お問合せ、お申し込みは岩手県支部まで。

あとがき

●捨てればゴミ、回収箱に入れれば800個で一人分のワクチンとして世界の子どもたちに届けられます。福岡ソフトバンクの和田毅投手、「支援は誰かにやらされるのではなく自分の意思で行つもの…だから自分流に楽しく、野球の成果に加えもう一つの成果を出せる」といって、試合で一球投げる毎に10人分のワクチン寄付をしているそうです。キャップ収箱は施設や店舗などに設置されています。

●日本ユニセフ協会岩手県支部設立10周年に「岩手県ユニセフ協会」と名称変更。この10年間多くのみなさまのご支援をいただきユニセフの輪が広がりました。学校では国際理解教育としてユニセフが取り上げられ、子どもたちのきずきと感動、そしてボランティア活動への参加が広がっていることがとてもうれしいことです。
いわてユニセフ10周年イベント、お気軽にご参加ください。

(事務局)

岩手県支部の ボランティアになりませんか？

詳しくは岩手県支部まで
お気軽にお問い合わせください

岩手県支部ではボランティアを募集しています。「まずはユニセフのことを知っていたら」とから始まるのですが、みなさんのお力をほんの少しだけユニセフや世界の子どもたちのためにお貸しください。

●運営ボランティア…出前講座・募金活動など県支部の活動について計画を立てたり、ボランティアの中心となって活動しています。

●イベントの手伝い…県支部としてさまざまなイベントでユニセフカードなどの頒布

その他お気軽に岩手県支部へお問い合わせください。ボランティア参加に際しては年令、経験は問いません。みなさんでのご参加をお待ちします。

きりとり

ユニセフ活動 参加申込書

事務局使用欄

受付日

参加希望に <input type="checkbox"/> をつけて下さい	(フリガナ)	団体・学校名
ユニセフギフトカタログ	お名前	
ユニセフ会員	住所 〒 <input type="text"/> - <input type="text"/>	電話番号 ()
ユニセフボランティア		FAX番号 ()

お申し込みは

(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部
TEL 019-687-4460
FAX 019-687-4491
〒020-0180
岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3
(いわて生協本部2階)